

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、ご利用いただきたくご案内いたします。


当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほどよろしくお願い申し上げます。

敬白

記

■ 実施日 2019年6月11日(火) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目コード	検査項目	検体量	容器	保存(安定性)	所要日数	保険点数	検査方法	備考
R251 3	倫理指针对象 NCC オンコパネルシステム	未染標本 スライド 5枚 厚さ 10 μ m + 血液 2.0mL (EDTA-2K加)	Z10 (t) + PK2 (g)	冷蔵	16~22 日	56,000	次世代 シーケ ンス (NGS)法	 未染標本スライドと当日採血した血液(EDTA-2K加)検体をペアでご提出ください。当日採血が難しい場合は、凍結保存してご提出ください。未染標本スライド検体の腫瘍細胞割合は20%以上を推奨します。他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意ください。測定および解析状況によっては所要日数が変わる場合があります。 &オ

&オ：株式会社理研ジェネシス

※本検査をご依頼の際には、必ず「核酸抽出 NCCオンコパネル(項目コード：X1570)」も併せてご依頼ください。

● NCC オンコパネルシステム

NCCオンコパネルシステムは、固形がんを解析対象とした腫瘍組織の包括的ながんゲノムプロファイルを取得することで、患者さんのがん固有の遺伝子異常を解析し、正確な診断や抗がん剤の選定など治療方針決定に有用な情報を提供する検査です。

▼疾患との関連

固形腫瘍

▼検査要項

検査項目名	NCCオンコパネルシステム
項目コードNo.	R251 3
検体量	未染標本スライド 5枚 + 血液 2.0mL
容器	Z10(t) + PK2(g) EDTA-2K入り
保存方法	冷蔵
所要日数	16~22日
検査方法	次世代シーケンス (NGS) 法
保険点数	56,000点 特定保険医療材料としては設定せず、新規技術料にて評価する。 【準用技術料】 ・包括的ゲノムプロファイル取得のための本品検査（パネル検査）実施に係る準用技術（パネル検査実施料）：8,000 点 ・パネル検査の結果の判断及び説明等の実施に係る準用技術（パネル検査判断・説明料）：48,000 点

●提出の際の留意事項

- ・未染標本スライドと当日採血した血液（EDTA-2K）検体をペアでご提出ください。
- ・当日採血が難しい場合は、凍結保存してご提出ください。
- ・未染標本スライド検体の腫瘍細胞含有率は 20%以上を推奨します。
- ・エキスパートパネルでの検討の際に腫瘍細胞含有率が必要となりますので、必ず腫瘍細胞含有率を記載してください。
- ・腫瘍細胞含有率が20%未満の場合は全ての未染標本スライドの裏面から腫瘍部にマーキングをしてください。腫瘍細胞含有率に関わらずマクロダイセクションを希望される場合は、腫瘍部にマーキングしたスライドにてご提出ください。
- ・採取された組織は速やかに10%中性緩衝ホルマリン溶液に浸漬し、固定を行ってください（推奨固定時間は48時間以内）。
- ・ご提出の際には、可能な限り3年以内に作製したホルマリン固定パラフィン包埋（FFPE）ブロックより、指定の厚さにて連続切片を作製してください。
- ・酸脱灰した検体はDNAが分解しているため検査不能となる可能性がありますのでご注意ください。
- ・1スライドあたり16mm²程度の組織を提出してください。
- ・薄切時には検体ごとにマイクローム刃を交換するなど、コンタミネーションに充分ご注意ください。
- ・組織のホルマリン固定により核酸が断片化されているため、固定液の種類や組成、固定時間、固定後の検体の保存状態によっては、解析不可能となることがありますので、あらかじめご了承ください。
- ・本検査をご依頼の際には、必ず「核酸抽出 NCCオンコパネル（項目コード：X157 0）」も併せてご依頼ください。

▼参考文献

Kato M, et al: Genome Med10:44,2018. (検査方法参考文献)

Tanabe, et al: Molecular Cancer15:73,2016. (臨床的意義参考文献)